

稲城市議会議員選挙公報

【議員定数22人】

稲城市選挙管理委員会

介護・リハビリ—福祉のスペシャリストが 稲城発 福祉先進都市を実現します！

5つの「稲城」を実現します！

- 環境先進都市稲城を！**
- 安全な街稲城を！**
- 子供達がすくすく成長する稲城を！**
- 美しく活力ある稲城を！**
- 福祉先進都市稲城を！**

●地域包括ケアシステムを進化させ、住み慣れた地域で最期まで暮らせる看取りケアを推進します。

●市内に少ない障害者のための施設の開設や相談体制が充実するよう取り組めます。

●交通不便地域の解消を図るために、乗合タクシー制度など小規模コミュニティ交通を推進します。

●おやこ包括支援センターを推進し、環境境遇が似ている方々と共に寄り添える相談支援やグループ療法などの仕組みを作ります。

●学童クラブの定員を増加させるなど待機児童の解消に取り組めます。

●まちの治安や環境が乱れないよう、防犯カメラの設置や環境悪化を防ぐ対策に取り組めます。

●清水谷戸の自然環境を守るため、生産緑地の継続や緑地公園などの緑地保全を推進します。

●稲本久春プロフィール www.enomotohisaharu.com/

■1962年生まれ60歳 ■学歴 稲城二小、二中、世田谷工業高校卒業 ■職歴 東芝入社、正吉苑介護サービスに従事 ■議会議歴 2015年稲城市議会初当選、現在2期目

■経歴 稲城市消防団第五分団(分団長)、坂浜サッカークラブ保護者会(会長)、稲城市災害防止協議会理事(会計)、青少年育成坂浜地区員(副委員長)、稲城第二小学校学校評価委員会、稲城ふれあいの森運営委員会(副委員長)、日野青色申告会理事

私も応援しています！ 前稲城市長・東京都議会議員 石川良一



無所属 えのもとひさはる 60歳

榎本久春

稲城市は、東京都全体の中で、これからも発展を続ける自治体と位置づけられています。平均年齢が44.3歳と東京都26市の中でも一番若いまちとなっており、子育てする世帯も多く、子どもを育てて行くための新たな子育て支援策が重要になっていきます。しかし一方で、2025年問題(団塊の世代がすべて75歳以上)もあり高齢化は確実に進んでおり、まちづくり・人づくりは将来を見据え、その変化に対応できる準備が必要です。私は、今までの介護の仕事や消防団、青少年地区委員などの地域活動の経験を活かし全力投入してまいります。

平成生まれの新たな視点で稲城を日本一に！

私の原点「大病を乗り越え幸せを実感。」

私は悪性リンパ腫という血液のガンを患いました。毎日「明日生きていくことができるだろうか。」という不安に押しつぶされそうになりながらも必死に闘病して、悪性リンパ腫に打ち克つことができました。

大病を乗り越えたからこそ、「夢に向かって努力できること、好きなこと・やりたいことに取り組めること」は、本当に素晴らしいことだと実感しました。

稲城市の全ての皆様が、目標に向かって全力で取り組める環境整備と健康長寿社会の実現をすることが、大病を乗り越え幸せを実感した私の使命だと信じ、挑戦を決意しました。

プロフィール

1994年(平成6年)5月15日生まれ。中学2年生の時に稲城市に転入。若葉総合高校、日本大学法学部卒業。衆議院議員伊藤達也事務所元公設秘書。22歳、悪性リンパ腫を患うも打ち克つ。2019年 宅地建物取引士試験合格(中小企業診断士1次試験合格)。稲城市新体協協会 理事 就任

5つの政策で好循環社会を目指します！

- ①財源確保**
「デジタル化」「南武線高架下の利活用」「市内各駅前の賑わいづくり」「創業支援」「企業誘致」にも力を入れ、増収と各種政策の財源を確保します！
- ②未来投資**
全ての子ども達の「学習環境」「福祉制度」を整備します！「子ども達の夢が叶うまち稲城」実現のために金銭面・環境面でのサポートを拡充します！
- ③生涯現役**
教育現場に「保健指導プログラム」の導入を提案します！「スポーツを通じた健康づくり」の充実に向けて取り組みます！
- ④安全確保**
都市のプッシュ型情報発信を参考に、市民の「分らない」を無くす情報発信の提案します！犯罪に強いまちづくりをハード面、ソフト面で強化します！更に安全・安心なまちづくりに取り組みます！
- ⑤地域振興**
稲城市のきれいな水と緑との調和を大切にしたいまちづくりを提案します！稲城市の歴史や伝統文化を次の世代へ継承する取り組みを力強く進めます！



中島健介を推薦します！

衆議院議員：伊藤達也
衆議院議員：小田原謙
衆議院議員：長島昭久
参議院議員：朝日健太郎
都議会議員：こいそ明



なかじまけんすけ

中島健介

28歳 自民党

しみんが主役 情報公開するまち 稲城

皆さまの税金がどのように使われているのか、市民の皆様を知る権利を守るため、徹底して情報公開するまちづくりを推進します。

- 自 武田まさひとプロフィール**
- 1963年生まれ
 - 北海道二子町出身
 - 稲城市矢野口に42年在住
 - 北海道伊達高校入学
 - 独立上野高校に編入し卒業
 - 不動産会社を経て、通産会社にて法人営業
 - 2019年4月に稲城市議会議員選挙にて初当選
 - 建設環境委員会委員長(2期連続)
 - 国土審議会委員(2期連続)
 - 矢野口自治会理事/体育部長(4年)
 - 中央公民館交流祭り実行委員長(3期)
 - 矢野口地区介護予防プロジェクト推進委員会
 - 稲城障壁フリー大会実行委員
 - 阿波踊り「乙姫」副連長

- 政策① 全ての市民に「居場所」と「活躍できる場」を!!**
- お年寄りや障害をもつ方々、様々な生活環境でお困りの方々、全ての市民が、自分らしくいられる「居場所」と「活躍できる場」がある街をめざします。
- 政策② 安心して子育てができる環境を!!**
- 子どもの学力格差・教育格差が生じないよう教育の支援体制づくりに取り組めます。障害のあるなしに関わらず、共に学び育つことが出来るように、インクルーシブ教育に取り組めます。
- 政策③ まちにあるべき農地・農業を支えます!!**
- 環境ボランティアやシルバー人材センター、福祉施設との連携をより柔軟に活用できるよう推進します。都市農地を積極的に活用することが重要であるため、新規就農者と農地所有者との相互理解をめざします。
- 政策④ 里山や農地の保全をめざします!!**
- ここ稲城の美しい自然風景を維持し、将来世代にわたって残していくための仕組みづくりに取り組めます。

議員活動4年間の成果

- 稲城市立病院の病室や地域福祉プラザの会議室にセキュリティ性の高いWi-Fiの整備、各文化センターでのモバイルWi-Fiの無料貸し出しを提案し、それぞれ実現させました。
- 平尾団地のスーパーヤマザキが撤退し、買い物難民を救うため、全国で1000台以上展開している移動販売車「とくし丸」の誘致に成功しました。

<https://masahito-takeda.jp> 武田まさひと



立憲民主党公認

武田まさひと

きれいで誇れるまち 安心して暮らせるまち 稲城の未来へハットトリックを目指します！

- 目指すゴール1 きれいで住みよい誇れるまち稲城**
- 8年前、市議会議員になったとき「稲城市のため、市民のため、自分にできること」として始めたのがゴミ拾いパトロールです。「きれいなまちは市民に愛される」との思いのもと、「きれいなまちは犯罪が少ない」という研究もあり、ゴミが落ちていないまちは「安全安心なまち」「誇れるまち」への第一歩になるとの信念を持って、これからも活動を続けてまいります！
- 目指すゴール2 多世代交流で安全安心なまち稲城**
- 日本社会の安全神話が崩壊しつつある昨今ですが、少し前の時代までは、地域の大人が子どもたちに目を配ったり、お年寄りに声をかけたりして、互に見守り合っていました。危険に満ちた今の世の中だからこそ、このような古き良き時代の思いやり精神を取り戻しましょう！ 地域住民の繋がりがあれば、防犯だけでなく防災の観点からも安心できることは間違いありません。
- 目指すゴール3 地域で見守り子育てするまち稲城**
- コロナ禍により、自治会や子ども会など地域の様々な活動が停滞を余儀なくされました。以前なら、人と人が顔を会わせ共に活動する中から温かなふれあいが生まれ、思いやりの心や事の善悪を判断する力、仲間と力を合わせる経験など、大人から子どもへ伝えるべきことも地域の交流の中から伝承されてきました。今こそ地域社会を挙げて、子どもたちの成長を助け、子育て世代のご家庭を支援し、コミュニティを再生しましょう！
- プロフィール**
- 昭和43年6月8日生まれ、54歳のA型。家族は妻と息子2人、娘1人、犬1匹。稲城で生まれ、稲城で育った生粋の「稲城っ子」！ 稲城四小・三中で学び、高校卒業後は矢野口のタカハススポーツに就職、稲城市役所や市内の学校、公共施設等で様々な方と出会い、就職後に始めたサッカーでも選手・監督・連盟役員として多くの方と交流し、「稲城愛」がさらに深まりました。
- 平成28年に稲城市議会議員に初当選し、現在2期目。稲城市監査委員、議会運営委員会委員、総務委員会委員、稲城市体育協会理事、稲城市サッカー連盟会長兼理事長、矢野口駅前キラフェスタ実行委員アドバイザー、学校法人青葉学院青葉幼稚園評議員、青葉フットボールクラブ会長を務めています。



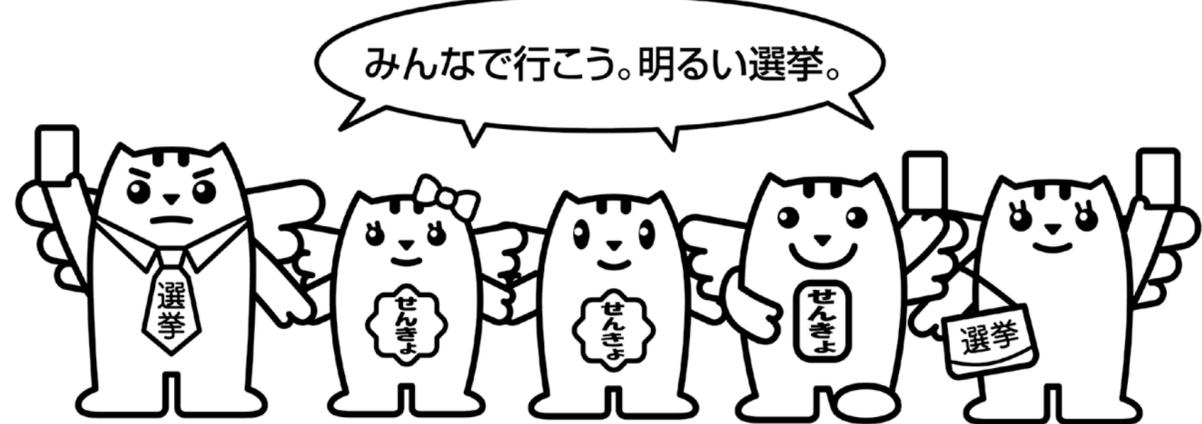
池田英司

無所属

投票日 4月23日(日)

投票時間

午前7時から
午後8時まで



稲城市議会議員選挙公報

[議員定数22人]

稲城市選挙管理委員会

幸せを実感できるオンリーワンのまちづくり 市民に寄り添い 声を聞き 命と暮らしを守るために!



7つの政策の
実現に全力!

残念ながら新型コロナウイルスとの戦いは4年目を迎えております。この間、議員として何をすべきかを常に考え行政と議論を深めて対応して参りました。今後とも、市民に寄り添い・声を聞き・命と暮らしを守るために全力で働いて参ります。

work for You!

- 子ども達の笑顔のために全力
- 都市力の強化に全力
- 稲城の自然と緑・農地を守るために全力
- 高齢者が生き生きと暮らすために全力
- 地域を支えている地元企業のサポートに全力
- 災害に強いまちづくりに全力
- スポーツと観光のまちづくりに全力

北浜けんいち

きたはま 無所属

1961年稲城生まれ コマサ幼稚園卒 / カリタス学園小学校卒 / サレジオ学院中高卒 / 東京国際大学国際学科卒 / NY コロンビア大学留学 (在米2年半)

北浜けんいちさんを応援しています
衆議院議員：伊藤達也
衆議院議員：小田原潔
参議院議員：丸川珠代
東京都議会議員：こいそ明

子どもたちの未来と暮らし最優先の稲城を



市議5期20年。粘り強く市民の願いを届けて、認可保育園を増やし、iバス増便を実現。子育て支援、市民の願いを何年もかけて一步一步進めてきました。
物価高騰で暮らしの大変さは増すばかりです。開発より暮らし第一をブレずに貫いて、がんばる決意です。

- 暮らし**
- iバスを30分に1本に増便、バス停にベンチ設置
 - 補聴器購入助成
 - 国民健康保険税値上げストップ、子ども均等割廃止
- 住環境**
- 気候変動対策—公共施設に太陽光パネル設置・食品ロス削減
 - 里山の保全・市民農園の拡充
 - 若葉台駅構内のエスカレーター設置
 - 向陽台三和前交差点の改善
- 教育・子育て**
- 子ども医療費無料化 18歳まで所得制限撤廃
 - 学校給食費無償化
 - 小中学校全学年で少人数学級
 - 奨学金の返還支援制度創設
- 人権**
- 性の多様性の尊重とジェンダー平等実現
 - 学校や公共施設に生理用ナプキンの設置を実現しました!

20年間、稲城駅、南多摩駅、若葉台駅での朝の市政報告、毎週続けています。議会レポート「こんにちは岡田まなぶです」No.260に。これからも続けていきます。

●1969年生まれ ●和光大卒 ●家族は妻、子ども(大学生、高校生) ●趣味は歴史小説読書、ジョギング。LINE公式

気候変動対策! 原発ゼロ 大増税NO! 物価高騰対策を

日本共産党 岡田まなぶ

おかだ まなぶ

「住んで良かった」「これからも住み続けたい」 日本一の街“稲城”を目指して!!



- 坂田たけふみ 8つの政策
- 教育**
不登校児童・生徒数は、年々増加傾向にあります。子どもたちの自己肯定感を育み、個々のペースで学べる教育環境を目指します! いじめを許さない学校づくりを推進します!
 - 福祉**
人生100年時代。いつまでも若々しく元気で美しく。高齢者の介護予防、健康増進、子育て支援を通じて、誰もが活躍できる福祉環境の充実を目指します!
 - 都市基盤整備**
日常生活を送るうえで欠かせない生活インフラ。狭路を解消し、歩道分離の安全安心な道路整備を推進します! 都道朝川街道、尾根幹線道路の早期整備を推進します!
 - 経済**
市の魅力を発掘し、市内外に発信することで消費喚起を促し、市内事業者と地域経済の活性化を目指します! 魅力ある企業を誘致し、賑わいあふれるまちづくりを目指します!
 - スポーツ**
“市民スポーツ”を掲げ、ソフト・ハード面ともに充実させ、スポーツを通じて心身ともに活力あふれるまちづくりを推進します!
 - 防災・防犯**
市民の生命と財産を守るための、防災・防犯対策の強化充実を推進します。日本一安全安心な街を目指します!
 - 環境**
豊かな自然は、稲城市の誇れる財産です。自然を生かしたアスレチック公園や、市の基幹産業である農業・農地を守り継承することで、自然を身近に感じられる共生のまちづくりを目指します!
 - 医療**
“ウィズコロナ”の時代においても、安心できる医療体制の充実、市立病院の更なる利便性・サービスの向上を目指します!

坂田たけふみ

無所属

昭和55年1月29日広島生まれ、43歳
専修大学商学部マーケティング学科卒業
妻と子ども3人の5人家族
元プロボクサー
第69代WBA世界フライ級チャンピオン

市議会議員3期12年の経歴
総務委員会(委員長)、福祉文教委員会、建設環境委員会、議会運営委員会(委員長)、稲城市監査委員、多摩川衛生組合議会監査委員、稲城市府中農産組合議会議員(副議長)、南多摩宮前組合議会監査委員、都市計画審議会委員を歴任。現在、稲城市柔道連盟会長、自衛官募集相談員

梶浦みさこの5つの政策提案

- 公約① 市役所のDX推進
- 公約② ニュータウンの高齢化対応
- 公約③ 小中学生の防災頭巾を防災ヘルメットへ
- 公約④ 更年期症状・障害の対策・支援強化
- 公約⑤ 公民連携(PPP)による行政サービスの向上

市民の皆様生活に寄り添う政策を提案し、議会で成果を出し、皆様の負担に引き続き、お応えしたい!
梶浦みさこ(無所属)の再出発、Reスタートを応援ください!

梶浦みさこの議会成果 3大の政策実現

- 1. [プラスチックごみ分別回収] 開始 [2021年6月議会にて提案]
 - 2. [SDGsを第五次稲城市長期総合計画に関連付け] [2018年3月議会にて提案]
 - 3. [教員・保育士の「子どもへのわいせつ行為 根絶対策」意見書]を市議会から国へ提出 [2021年3月議会(議員提出議案)にて提案]
- インターネット・自転車選挙 No! 選挙カー
- 梶浦みさこ選挙事務所 tel:050-3576-8339

ひとくらし、未来のために
市民が主役! 稲城のまちづくり
リビングタウン! 永住都市いなぎを目指して活動中!

梶浦みさこ

かじうら

仕事やレジャーなどで 当日投票できない方へ

期日前投票を ご利用ください

会場	開設期間	開設時間
地域振興プラザ 1階	4月17日(月) ~ 22日(土)	午前8時30分 ~ 午後8時
平尾自治会館 (平尾3-7-1)	4月20日(木) ・ 21日(金)	午前9時 ~ 午後6時
iプラザギャラリー (若葉台2-5-2)*	4月19日(水) ~ 21日(金)	午前9時 ~ 午後8時

*iプラザでの期日前投票による駐車サービスはございません。

稲城市議会議員選挙公報

[議員定数22人]

稲城市選挙管理委員会

くらしと子育てに全力!



市議会ではじめて育休取得

稲城市生まれ 東洋大学卒
病院等で管理職を経験した医療・介護制度の専門家
家族：妻、子ども3人猫2匹 趣味：料理全般と猫の世話

安心して暮らしているまちづくり提案

- 団地建て替え補助制度新設
- iバス路線バスの本数増
- バス停へのベンチ設置
- 利用しやすい介護保険
- 障害者施設の増設
- ケア労働者の待遇改善
- 地域猫活動への費用補助

市民の皆さんと一緒に実現してきました

- 学童クラブ新設で定員増
- 国保税2年連続値上げストップ
- 保育園給食費値下げ
- 市役所駐車場無料枠拡大
- 学校トイレの洋式化
- 避難所の改善
- 動物愛護活動推進

大軍拡増税NO!



暮らしと子育てを支える

5つの緊急提案

- 1 学校の給食費ゼロ
- 2 18歳までの医療費ゼロ
- 3 ゴミ袋代値下げ
- 4 高齢者の補聴器購入補助
- 5 国保税の値下げ



日本共産党

山岸太

やまぎし たいち

一人のために、未来のために

2019年の初当選以来、約750件の市民相談をお受けしながら、どこまでも「一人の声」を大切に、市政発展に全力で取り組んでまいりました。両親の介護や3人の息子の子育てを経験する中、生活者目線の政治を貫いてまいりました。長引くコロナ禍や物価高騰などから市民生活を守り抜くために、これからも一層、働き抜いてまいります!

佐藤しんじのビジョン

- 安心・安全のまちづくり
 - 通学路や公共施設への防犯カメラのさらなる拡充
 - 高齢者や障がい者の外出を促進するバリアフリー環境整備
- 未来の宝が輝くまちづくり
 - 第2子保育料の無償化と待機児童解消
 - 共生社会に向けたインクルーシブ教育の充実と支援強化
 - 生活困窮世帯や不登校の児童への支援強化
- 健康に暮らせるまちづくり
 - 地方創生臨時交付金を活用した地域・生活支援
 - 地域包括ケアシステムの強化
 - 独居高齢者支援のさらなる充実

佐藤しんじの主な実績

- 防災・防犯
 - ◆犯罪抑止効果のある防犯カメラを市内139ヶ所にまで拡充
 - ◆多摩川水門の遠隔操作装置を設置
- 教育・子育て
 - ◆全普通教室と体育館にエアコン設置
 - ◆学校運営協議会制度を全小中学校に導入
 - ◆高校生までの医療費無償化・助成
 - ◆出産一時金(50万円)の大幅増額
- くらし・福祉
 - ◆在宅高齢者見守りサービスの実施
 - ◆食品ロス削減の窓口14カ所を設置
 - ◆シェアサイクル事業導入と拡充

- 1970年東京生まれ ●都立稲城高校・國學院大学卒業後、会社員として営業の第一線で奮闘
- 家族構成/妻と3人の息子 ●座右の銘/努力にまさはりなく 至誠にまさはりなく

佐藤しんじのプロフィール



佐藤しんじ

公明党公認

愛する稲城のより良い未来を 次世代へ伝えたい

私の目指すまちづくり 5つの目標

愛する稲城をさらに住み良いまちにするため5つの目標に取り組みます。

1. 安全で安心して暮らせるまちづくり

- 近年は台風が基大化し、豪雨被害も全国各地で発生しています。また、首都直下地震など大震災がいつ発生するか分からない現状で、今まで以上に防災意識を高め、危機感を持って災害に強い安全なまちづくりを目指します。
- 稲城市は、刑法犯認知件数が年々減少し、東京でも有数の安全なまちです。これからは犯罪を起こさせない、より一層人にやさしいまちづくりを目指します。

2. 全ての市民が健康で元気に 笑顔で暮らせるまちづくり

- 子どもは地域の大切な宝物です。事故や災害から子どもたちを守るため、通学路点検や見守り体制を充実させ、子育てしやすいまちづくりを目指します。
- 高齢者が元気に笑顔でいられるよう、転倒予防体操など健康維持活動を促進するとともに、地域で見守る体制を充実させ、いつまでも安心して暮らせるまちづくりを目指します。

3. 活気に溢れた 元気なまちづくり

- 個性的なお店やオシャレなお店など魅力と活気にあふれる商店街づくりを支援し、ワクワクするような買い物や飲食が楽しめるまちづくりを目指します。
- 市内の商工業や農業の後継者を支援し、若い世代の自由な発想や活力を活かしたまちの若がえり、元気なまちづくりを目指します。

4. 地域の伝統・文化を大切に 新しい文化に柔軟なまちづくり

- 地域に残る伝統・文化の魅力を次世代の子どもたちに伝え、後継者づくりを支援し、文化と芸術の薫り高いまちづくりを目指します。
- 「自転車のまち稲城」やメカニックキャラクターなど、新しい文化を積極的に推奨し、若い人にも受け入れられる柔軟なまちづくりを目指します。

5. 多くの市民と語り合い 市民の声を市政に生かすまちづくり

- 長引くコロナ禍により、地域のつながりやコミュニティが打撃を受けています。今こそアフターコロナのまちづくりを多くの市民と語り合い、皆さんの声を市政に生かします。
- まちの美化、ゴミのポイ捨て防止を徹底し、市民が集う公園や広場を整備し安全で安心なきれいなまちづくりを目指します。



角田政信

無所属 かくた まさのぶ

世代循環型のまち 稲城を目指して 完全無所属・働き盛り40歳

声を力に、想いを形に。

人口減少社会の中で、「子供たちが、またこの稲城を人生の舞台に選ぶ」世代循環型のまち「〇〇をやります」×「ナンバワー」を目指します。補助、助成します。等を叫ぶのではなく、まちづくりのためにやるべきことは全部やり、やるべきことは勇気をもってやめ、世代間の公平性を担保することが議員の仕事。子育て、教育、福祉環境の向上、文化芸術、スポーツの充実、誰もが安心安全に利便性高く暮らせ、防災減災対策やインフラが整い、自身自身の背を埋める価値のある街をつくるためにあらゆる事を自分事として捉え行動すること。大言壮語、口先だけ、批判だけではダメ。市民の代理たる政策的で高度な判断力を養い、常に市井の現場で汗を流し、最前線で働く。社会人の鉄則たる「定量と定性」を確立し、公私関わらず365日の活動をWEBで全公開。稲城で平和に暮らし、育ち、愛郷心が芽生え、「今まで育ててくれてありがとう。」

私、この稲城で暮らしたい!」

次の世代にそう言われしめる、30年先の期待を裏切らぬよう、文字通り身命を賭して。

【略歴】1982年5月、山形県東置賜郡のブドウ農家で生まれる。はなぶさ幼稚園～法政大学卒→2005年4月、現職リクルートに正社員入社。住宅情報「SUUMO」プロジェクト制作リーダーを経て退職。2011年、稲城市議会初当選。現職市議の中で唯一、総務・福祉文教・建設環境の稲城市議会常任委員会の全委員長職を歴任。亡父(身体障害者1級)の長期介護経験者、妻(娘3人)と母親との6人暮らし。

【役職・資格等】 令和5年3月まで
稲城市議会議員、稲城市青少年協議会委員、稲城市中華総会副議長、稲城市青年会議所第41代理理事長(わんぱく相撲行司/かえっこゴザー/4-クマ7)、稲城市消防団第6分団団長、稲城市パドミントン連盟男子代表選手、稲城まちかど東友協会理事、稲城東くまの九を歌う演奏会実行委員長、共進会子ども食堂クッキングいっしょなご理事、自転車道のまち稲城共同代表、平塚宅地分譲住宅自治会事務局長、杉山神社奉賛会理事、林業経営塾塾生(第9期)、日本防災士機構認定防災士、日本赤十字救急救済隊員、関東総合通信局上特務無線技士、経営情報処理技術者(ITP)第



鈴木誠

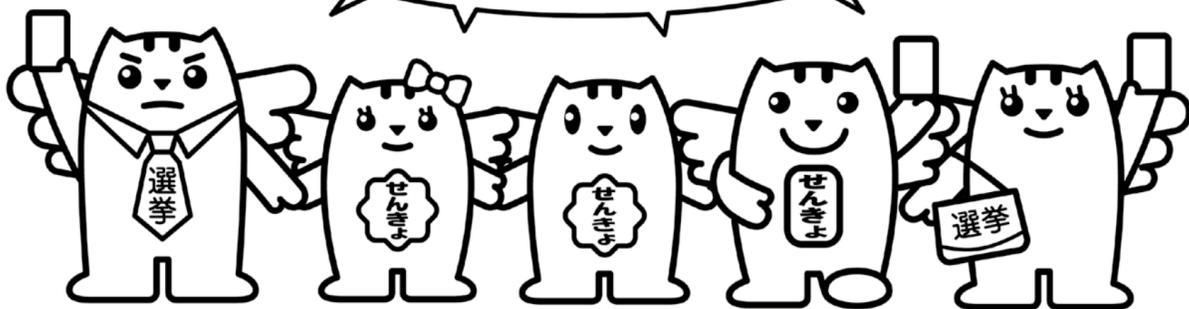
すずき まこと

投票日 4月23日(日)

投票時間

午前7時から
午後8時まで

みんなで行こう。明るい選挙。



稲城市議会議員選挙公報

【議員定数22人】

稲城市選挙管理委員会

いきいき稲城の未来をつくる!

誰もが安心して暮らせる街 稲城 誰もが安全に暮らせる街 稲城
人にやさしい街 稲城 住んで良かった住み続けたい街 稲城

つじ寛美は、市議会議員として3期12年間、一人ひとりに寄り添い、皆さまから寄せられる、小さな声に耳を傾け、市政に届け、「安心」「安全」「人にやさしい」「住んで良かった住み続けたい街」の実現に取り組んでまいりました。これからは女性の視点で、「笑顔あふれる街・稲城」を目指して全力で働いてまいります。



公明党公認

つじ寛美

ひろみ

つじ寛美は挑戦します!

- 街頭防犯カメラの維持・拡充
この4年間で街頭防犯カメラは43台増設され139台に。新たに4193名の署名とともに市長へ要望。これからは設置維持と拡充に挑戦!
- 在宅高齢者見守り事業の継続と充実
在宅高齢者見守り事業(見守り電球事業)継続・申請緩和を3555名の署名とともに市長へ要望。在宅高齢者が安心して暮らせるための充実を挑戦!
- 自然あふれる環境や樹木整備を強化
緑豊かな自然との共生の街づくりと、地域の樹木整備に挑戦!
- 子どもの幸せを最優先にする支援対策の推進
公明党は一貫して「子どもの幸せ」を最優先に、公明党チーム3000の市政・都政・国政の議員ネットワークで支援対策の実現に挑戦!
- 人と動物の共生社会づくりの推進
人と動物の共生社会は住み良い街づくりに大助。実現に挑戦!

つじ寛美は実現しました!

- 市立小中学校にエアコン設置
小中学校の普通教室と体育館を、都議会公明党との連携で設置予算を確保し実現しました。
- 通学路に街頭防犯カメラを設置
2019年、4664名の署名とともに、街頭防犯カメラ増設を申し入れ、全小中学校通学路に設置が実現。
- 「読書通帳」を導入
市立図書館全館に導入実現・子どもの読書活動を推進
- 「本の除菌ボックス」を設置
コロナ禍でも安心して読書に親しめる環境をつくるため、市立図書館全館・小中学校図書館に設置を実現。
- サイクルステーションの拡充
市内を回遊するシェアサイクル事業とステーションの拡充を実現
- 都内初「メロディパトロール車」を導入
防犯パトロール車(青パト)にメロディを流し、地域の防犯意識を促すことを提案し導入。

つじ寛美を応援します

公明党代表 山口 なつお (公社)東京都獣医師会 南多摩支部
参議院議員 竹谷 とし子 稲城部会長 進藤 直樹
夜回り先生 水谷 修 (公社)東京都獣医師会 監事 小松 泰史

●1967年11月8日福島県いわき市生まれ ●稲城市議会公明党代表
●稲城市議会副議長 ●議会運営委員会副委員長 ●多摩川衛生組合 代表議員

HP YouTube

未来に向かって...つなぐ

いきいき人と人とをつなぐ街 稲城

あなたの一票が稲城を変える!!!

人と人とをつなぐ仕組み・環境作り

- 伝統芸能や伝統芸術に参加できる仕組み作り
- 子どもの育成を支援する経験豊かな人材バンクの充実
- 姉妹都市等との交流を通して子どもの国際感覚を育成
- 既存の公民館、資料館の整備しエコミュージアムを実現
- 高齢者施設の充実と福祉施設の拠点づくり

稲城市芸術文化団体連合会・稲城市姉妹友好都市交流協会・稲城市社会教育委員の会・稲城市立稲城第六小学校運営協議会・Iのまちいなぎ市民まつり・市民活動サポートセンターいなぎ・青淵神社・八坂神社・みなみ会(東長沼益踊りの会)・青淵ざ(村芝居)などの市民活動を通して得た知識・経験を生かしてより豊かな街「稲城」をめざします。



安東 みつとよし

全市民9万人が元気!

生活の安全保障「ベーシックインカム」を稲城から

「稲城がよくて、住み続けています!」「稲城がよくて引っ越しました!」そんな街づくりに取り組みます

1 都心から30分、暮らしやすい稲城のさらなる充実

- より市民に寄り添った市民参加型の政治へ
民主主義は地方自治から。各市民団体と議員が結びつくことで、より一層、市民の声を活発に取り入れられる新しい市民参加型の議会を目指します。
- リモートワークに適したインフラ整備
働く場所としてだけでなく、仕事も息抜きもできる街へ。なしのすけ商品券のさらなる利用活性化により市内全体の生活がより充実する街づくりを。
- 在留外国人向け情報発信の充実
国家安全保障は足元から。稲城在住在留外国人へ向けた情報発信の充実により、全ての市民が十分に情報を得、交流できる街の実現を。

2 有事に備え、信頼のまちづくり

- サイバーディフェンスの専門人材の育成
行政システムが止まると、市民の当たり前で基本的な生活が脅かされます。どんなものにも早く対応できるよう、専門知識を持つ人材の育成に取り組みます。
- 稲城の自然を生かした再エネ利用と農地保護
有事の際は自給自足が命綱。豊かな自然は稲城の宝。伐採を無駄にしない再エネ利用や、農地を支える人々と市政を繋げる取り組みを行います。
- 首都支援も視野にいた稲城独自の防災能力を
ヘリコプターの活用や、都内では難しい災害救助犬の育成など、郊外だからこそ実現可能な独自の防災対策を。「大災害が起きた時も稲城なら安心」な街へ。

3 安心して暮らせる生活保障制度への取り組み

- 人生100年時代、福祉・生涯学習システムのさらなる充実
文化センターなど市民が利用できる施設が身近な稲城の利点を活かし、市民の取り組みと市政を繋ぎます。自己犠牲を払って学び奉仕する時代から、全体で支え合い潤いのある時代へ。
- 今こそ始める「ベーシック・インカム」導入への検討
今後導入が検討されるベーシックインカム。全て国政に丸投げという訳にはいきません。利用者寄り添った、子育てから介護までずっと安心して生活できる「稲城モデル」を構築し導入に備えます。
- コロナ対応の検証と今後の対応策
コロナウィルスの蔓延は私たちの生活に大きな影響を与えました。議会を通じてこれまでの取り組みを検証し、今後起こりうるあらゆる有事の際の対応に生かします。

林之成 (ゆきなり) ●1970年生まれ/52歳/大丸在住
●コマサ幼稚園、稲城第六小学校、稲城第一中学校、明治学院東村山高校、上智大学文学部新聞学専攻(株)まようせいにて「月刊地方財勢」「月刊地方自治」編集業務に従事、その後、教育系教材出版社、飲食業、進学塾等勤務。●稲城サッカースポーツ少年団卒、稲城フィルハーモニー管弦楽団団員(楽務チェロ)●現在、コーチングファーム会社代表

詳しくは hayashi.site



林 ゆきなり

無所属 52歳

子どもも、お年寄りもいきいき暮らせる稲城を

私は、この四年間、調査・提案を重ねて子どもの学習・生活支援事業、重度身障者グループホームなどを実現させることができました。暮らしがほんとうに大変になっています。だれもが大切にされる市政をつくるために引き続き市議会で働かせてください。

市民の切実な願いを実現します

- 1 学校給食費の値上げに反対、無料化を実現します
- 2 18歳までの医療費を全員無料にします
- 3 小中学校のトイレに生理用品を常備させます
- 4 国保税値下げ、子どもの均等割廃止をめざします
- 5 大丸都営跡地を活用して社会福祉施設、コミュニティ施設をつくります
- 6 i(あい)バスの本数、路線を拡充します
- 7 矢野口高架下の生活道路の安全を確保します
- 8 補聴器購入への補助を実現します

●新潟県生まれ ●お茶の水女子大卒 ●高校教師23年
●2015年稲城市長選に立候補、2019年市議選で当選(1期)
●趣味はピアノ、映画、お菓子づくり。

大軍拡 増税 NO!
花には太陽を子どもには平和を

推薦します!
草間俊子 (稲城平和のついで実行委員長)
楠原治利 (元稲城市議会議員)
大山恵三 (土地区画整理審議会委員)



日本共産党 田島 きく子

仕事やレジャーなどで当日投票できない方へ

期日前投票をご利用ください

会場	開設期間	開設時間
地域振興プラザ 1階	4月17日(月) ~ 22日(土)	午前8時30分 ~ 午後8時
平尾自治会館 (平尾3-7-1)	4月20日(木) ・ 21日(金)	午前9時 ~ 午後6時
iプラザギャラリー (若葉台2-5-2)※	4月19日(水) ~ 21日(金)	午前9時 ~ 午後8時

※iプラザでの期日前投票による駐車サービスはございません。

稲城市議会議員選挙公報

[議員定数22人]

稲城市選挙管理委員会

どい 土居のりひろ 自民党推薦

SNSで検索チェック

土居のりひろ 検索

http://doinorihiro.onamae.jp

若さと行動力で、新時代への挑戦
安心と安全の街「稲城」5つの柱

ふるさと稲城、自然を活かした教育・EV・ICTの活用

- ◎里山、棚田、自然と触れ合う事で「生きる」という考えを育む教育
- ◎多様な学びの場への移動手段として、EVスクールバス導入と運用
- ◎ICTの有効活用で全ての子どもが最適な教育を受けられる仕組みづくり

予防医療の推進と、生涯楽しく元気に過ごせる環境づくり

- ◎病気になる前、なりにくくなる為の予防医療を推進
- ◎健康寿命が伸びる事で、誰もが生き生きと、楽しく快適に過ごすまち
- ◎元気なシニアの方々の職場づくり(子ども見守りや多世代との触れ合い)

全世代が参加しやすい地域づくり

- ◎若者が参加しやすく、地域経済にコミットした場づくり
- ◎伝統を引き継ぎ、街の文化を守ることと地域の活性化と繋がり強化
- ◎市内の公的施設や交通機関をもっと使いやすく、利便性を改善

安心、安全にすごせる、人にも環境にもやさしい街づくり

- ◎通学路や小学校近くの信号機へのカウントダウン表示導入
- ◎子どもや高齢者の方々の、見守り強化に向けた防犯カメラの設置推進
- ◎EV公用車を導入し、災害時に緊急電源として使える仕組みづくり
- ◎警部交番を誘致し、利便性の向上と防犯力強化で安心して暮らせる街づくり

若者や、障がいをもつ方々が夢と希望をもてる「稲城、新時代」づくり

- ◎若者がチャレンジしやすい環境(起業・スタートアップ支援の強化)
- ◎建築土木や様々な製造業、従来の日本の強みを活かした経済の底上げ支援
- ◎障がいをもつ方々が楽しく、より良い環境で働ける職場づくり

私も応援しています！ 稲城市長 高橋 勝浩 衆議院議員 伊藤 達也
衆議院議員 小田原 潔 衆議院議員 長島 昭久 都議会議員 小磯 明

どい 土居のりひろ 無所属 41才

プロフィール
昭和57年(1982)
東京都目黒区生まれ、
平成12年(2000)神奈川工業高校卒業、
三重工入社(勤続23年目)、
平成18年(2006)結婚、
平成27年(2015)矢野口地下ダイニング&カフェついでオープン、
会社員として現場の最前線で働きながら、家族とともに飲食店を経営

【経歴(過去含む)】
第一小学校PTA本部役員(書記)、
第一小学校PTA本部監査役員、
穴澤天神社奉賛会世話人、
穴澤天神社神輿会事務局幹事、
矢野口自治会中部榎戸地区理事、
矢野口自治会体育対策部副部長、
稲城青年会議所専務理事、
Iのまち稲城市民まつり実行委員、
稲の遺構調査委員会委員、
吉方公園改修整備協議会委員、
林英臣政経塾 関東副講座長

【趣味・特技】
茶道、神楽、スキー、スノーボード、
サッカー、キャンプ、DIY、
映像制作、写真・動画撮影

★★稲城から改革を★★

稲城市はこの4年間でゴミ袋の値上げや市役所駐車場の有料化など、150項目以上の値上げや有料化を行いました。また稲城市は値上げをしてからも、財政危機アラート状態を宣言し、市の財政状況は厳しいものでした。

今、こういった状況で何か事業を始めても、その財源の負担をするのは市民が収めた税金です。これではやれば、やるほど、市民の負担になって、また新たな値上げや有料化が行われてしまいます。

まずやるべき事は、「なにをやるか」ではなく「なにをやめるか」です。

私は市役所の中の無駄を徹底的に削減していきます。そしてその為には、最終的な決定権をもつ議会が、まず初めに身を切る改革を進めなくてはなりません。

私は議員定数削減を改革の第一歩目とします。

無駄を削減
多すぎる議員定数22人から15人
稲城市職員人件費、天下り団体カット

暮らしに投資
高騰した物価対策、一律の補助を増え続ける介護、福祉等の助成を

4児のパパ
現在市議3期目 向陽台在住
向陽台小学校、稲城第五中学校卒業、
東京工業高校建築科卒業、日本工業大学建築科中退
妻、娘4人(14才・12才・10才・5才)の
6人家族で子育て真っ最中!

プロフィール
推薦人 東京都議会議員
前稲城市長 石川良一
脳梗塞の経験を
市民の健康の為に
生かして

稲城の子ども、子育てで世代の代表として

向陽台小学校 ↓ 稲城第五中学校卒業
長女14才・次女12才・三女10才・四女5才

無所属 いわさ 岩佐ゆきひろ 41歳

小さな声を大きくキャッチ!

挑戦します! 3つのビジョン

- 健康に暮らせる街 稲城
 - がん教育の推進と誰もが受診しやすいがん検診体制の整備
 - 心の不調を抱える人に寄り添う(心のサポーター)養成制度の充実
- 安心して暮らせる街 稲城
 - 買い物弱者のための移動スーパーの拡充
 - 自転車事故防止のための安全対策と安全教室の拡充
- 活き活きと暮らせる街 稲城
 - 子育て世代への伴走型支援を推進
 - 若い世代が活躍できる環境作りを推進

稲城市公明党の実績

- ◆体育館にエアコン設置
災害時に避難所となる小中学校の体育館にエアコンを設置
- ◆サイクルステーションの拡充
稲城市を回遊するシェアサイクル事業とサイクルステーションの拡充を実現
- ◆在宅高齢者見守りサービスの実施
居宅の点灯情報から安否を確認。見守られる側、見守る側どちらも安心
- ◆食品ロス削減を推進
市内14ヶ所にフードドライブの常設と福祉利用の実現

湯谷ひろし 公明党公認 52歳

湯谷ひろしプロフィール

- 1971年1月 北海道苫小牧市生まれ 52歳
- 小樽商科大学卒業後、空調設備会社、配管資材メーカーに勤務
- 2級管工事施工管理技士
- 家族構成/妻/娘3人
- 血液型/B型 ●趣味/サッカー ●座右の銘/継続は力なり

私達も推薦します!

水谷 修	竹谷 とし子	山口 津男	山崎 花	公明党公認
------	--------	-------	------	-------

http://watanabechikara.com ブログ、Twitter、FaceBookもご覧ください!

稲城を強く、やさしく、豊かで、美しい街に!

より強い責任感を持ち続け、誠実に、謙虚に、熱心に様々な課題に向き合ってまいります。将来を見据えた都市基盤整備を着実に進め、地域社会の資源を活かした農業や商工業の振興をはかることで働く場所を確保し、子供たちの教育施設・スポーツ・文化施設を充実させ、さらに医療や福祉・環境のシステムを整えるなど、住人が普通に暮らせる環境をつくっていきたい。個性豊かで魅力ある地域社会「稲城のまちづくり」にゼンリョクをつくります! キープ・オン・ゴーイング! (前に進み続けよう!)

7つのビジョン 実現にゼンリョク!

- 学校をもっと素晴らしい。幼稚園、保育園の費用負担を軽減して、望む人はみんな進学できる教育のしくみをめざします!
- 美しく豊かな自然を守る。水と緑にあふれる豊かな自然環境を守り、人と自然が共に生きる街づくりを推進します!
- 安心して暮らせる毎日に。みんなが通う学校の校舎や道路など、社会のあらゆる建物や設備を災害に負けないように強くしていきます!
- 女性がより輝ける社会を実現します。人口減少・医療・介護・子育て・教育、どれを見ても「キーマン」は女性です!
- 稲城の魅力を発信。自然・歴史・文化・伝統に触れ、稲城の魅力を具体的に発信します!
- スポーツの力で「健康で元気な街、稲城!」をめざします。人々をつなぎ、社会の力を引き出すスポーツづくりを推進します!
- 暮らしやすい街に。充実した道路網の整備を推進し、市内の路線バスの充実をめざします!

プロフィール
昭和28年11月13日東京生まれ、69歳、専修大学経済学部卒業、
巳年、さそり座、O型、身長167cm/70kg、妻、長男、長女、孫8人、
第33代議長、第34代議長(現職)、総務委員会、福祉文教委員会、建設環境委員会、議会運営委員会(委員長)、農業委員会委員、多摩川衛生組合代表議員、東京たまたま城資源循環組合議員、都市計画審議会委員、土地開発公社評議員
稲城市在住35年(向陽台、長峰街開きから)、保護司、稲城市軟式野球連盟理事長、開稲城市体育協会評議員、東京都町村野球協会副理事長、若葉台フレンズ代表

私も推薦します!
衆議院議員 伊藤達也 / 衆議院議員 小田原きよし / 参議院議員 丸川珠代 / 衆議院議員 武見敬三 / 東京都議会議員 さいぞ明 / 参議院議員 朝日けんたろう / 参議院議員 生稲晃子

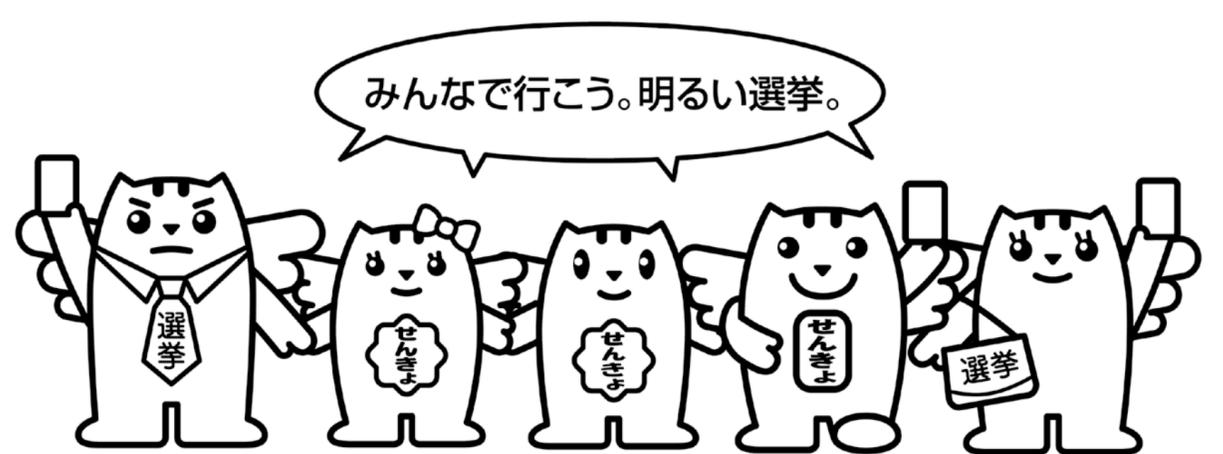
楽しく元気に 稲城! みんなの思いを実現させます。

渡辺力 自民党

投票日 4月23日(日)

投票時間

午前7時から
午後8時まで



この選挙公報は、稲城市選挙公報の発行に関する条例、第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を、そのまま掲載したものです。

稲城市議会議員選挙公報

【議員定数22人】

稲城市選挙管理委員会

稲城の未来に、ママの力を!

ママ・会社員・若い視点で課題解決に取り組みます!

子どもを産みやすい、育てやすい、育ちやすいまちへ

- 親子のコミュニティ支援、孤立育児にならない体制づくり
- 保育の質を向上し、安心して保育園に預けられる環境整備
- 18歳までの医療費助成制度の所得制限を撤廃
- 産後ケア事業の日帰り型・訪問型の充実

子どもたちの教育格差がないまちへ

- 学校に通えない子どもたちに多様な学びを支援
- 学校指定用品や校則を見直し、経済的負担を軽減
- スタディクーポンの導入(高校受験時に塾に行けるクーポン)

誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らせるまちへ

- 一人暮らしの高齢者をサポート
- 交通不便地区の解消
- 認知症予防や見守り、家族支援
- 発達障がいや早期発見、理解の促進、環境の整備

議会改革を前進します!

- 議員定数の見直しを検討
- 議会視察をオンラインで実施し、旅費経費を削減
- 長期欠席した議員の報酬を減額する条例を提案

プロフィール

- 1985年 稲城市生まれ、平尾団地育ち
- 稲城第八小学校、稲城第二中学校
- 日本大学商学部商業学科卒業
- 大手インテリア家具社員(10年勤務)
- 2019年 稲城市議会議員 初当選
- 2021年 議会運営委員会副委員長
- 多摩川衛生組合議会議員
- 夫、長男(12歳)、次男(8歳)
- 百村在住
- 向陽台小学校 PTA 役員
- 稲城国際交流の役員

4年間で40の政策実現!

現職最年少2児のママ

公式HPで公開

私たちも応援します!

都議会議員 石川良一
小金井市長 白井亨
元稲城市議会議員 藤原愛子



無所属 37歳

いそむらあきこ

民間の経験を活かした街づくり

5つの力は即戦力! 実行力No.1! 現役ママ・アナウンサー

行動力 稲城農産支援・商業0活動 企業・飲食店誘致 稲城市議会(新政会)HP・動画作成

伝達力 静岡朝日テレビ ニュースキャスター

5つの力

話題力 オフィス北野・TAP アナウンサー

体力 日本体育大学 硬式テニス部・主将

忍耐力 1児を育てる シングルマザー

1 行動力 地域活性化 全国各地取材し、自身が見て、聞いて、感じた経験は、地上波や新聞等では分からない情報を知り得る事ができました。この経験をもとに、今あるものを最大限に活かして現状を改善させ、飲食店の誘致を実現させることもできました。

2 話題力 新たな情報発信 オフィス北野・TAP アナウンサー

3 伝達力 見せる市政・伝える姿勢 市民の1人として、市政がもつ身近であって欲しいと思っていました。大事なことは市民の声を市政に活かされること、そして、一緒に街づくりをしていくことだと思っています。見せる市政を心がけ、定期的な活動報告チラシの配布やSNS(Facebook・ホームページ・動画制作)を行っていました。分かりやすく伝える姿勢を持ちつづけます。

4 忍耐力 子育て充実度UP 自身がシングルマザーとして直面した育児への不安や市への疑問等、子育て世代の皆さんの想いを汲み上げ代弁していきます。福祉文教委員として稲城市に必要な子育て支援はハード面だけではなく、教育・スポーツ等も含めた体制を整えるソフト面でも分かります。現在進行形の経験を活かしていきます。

5 体力 健康寿命満足度UP 近い将来に直面するであろう両親の介護、そして現在介護をされている方々が本当に必要な支援は何かを、当事者の声に聞かせていただきながら問題解決に寄り添って参りました。皆さんが少しでも健康でいられる取り組みを提案・実現・実行していきます。

プロフィール

- 昭和63年8月30日(44歳)A型
- 妻、長男(9歳)、次男(11歳)
- 梨花幼稚園、カリタス小・中高等学校
- 日本体育大学(硬式テニス部・主将)
- 静岡朝日テレビ(ニュースキャスター)
- オフィス北野・TAP(アナウンサー)
- 稲城農産支援(農産物)稲市農産保安・キズ割(ゼロ)推進
- 稲城市テニス部(会長)稲市予選特別委員会(委員長)
- 福祉文教委員、建設環境委員

川村あやの公式ウェブサイト



無所属 44歳

川村あや

デジタル・防災・にぎわい創出で地域コミュニティを再び元気に!

ITコンサルタントとしての業務経験、東日本大震災以降の地域防災リーダーとしての活動、様々な地域イベントの企画・運営に関わった経験を活かします。地域の課題を「自分ごと」として捉え、行政批判や他人任せにせず、主体的に課題解決に取り組みます。

中田中の5つの約束

- 地域「コミュニティ」の活性化と持続可能な体制づくりを推進します**
近年はコロナ禍の影響で思うように活動ができず、地域コミュニティは存続のピンチです。地域活動の再開を支援すると共に、ニーズの変化に対応した持続可能な体制づくり・担い手育成に取り組めます。
- 地域の「にぎわい」づくりから「稼げる」まちづくりを目指します**
善意のボランティアのみに頼るのではなく、地域の集客力・ブランド力を上げることで、稼げる地域にすることが必要です。これまでの経験を踏まえ自ら実践し市に提案していきます。
- 地域で連携した「防災対策」「防犯対策」に取り組みます**
地域の防災力・防犯力を高めるには、地域内の関係組織の協働体制の構築が必要です。関係団体が横断的に協力できるよう、合同訓練等を通じた連携強化に取り組めます。
- 行政・教育・地域活動のあらゆる領域で「デジタル化」を推進します**
プログラマー・SE・ITコンサルタントとして19年IT業界で勤務していた経験を基に、行政サービスや教育の分野でのデジタル化・ICT活用を推進していきます。
- 高齢化が進んでも健康で安心して暮らせる環境づくりに取り組みます**
市内ニュータウン地区(向陽台・長峰・若葉台)では急速に高齢化が進んでいます。高齢者が増えても健康で安心して暮らせるように、地域で支える仕組み・体制づくりに取り組みます。

プロフィール

- 昭和63年 埼玉県立浦和高等学校 卒業
- 平成4年 東京都立科学技術大学(現 都立大) 卒業
- 平成4~23年 日本ヒューレット・パッカー勤務 日本IBM勤務
- 平成20年 稲城市議会議員 教育委員
- 平成23年 稲城市議会議員 初当選
- 平成23~25年 同 福祉文教委員会 副委員長
- 平成25~27年 同 総務委員会 委員長
- 平成27~29年 同 福祉文教委員会 委員長
- 令和2年 福祉文教委員会 副委員長

稲城市議会議員(三期)・同 総務委員
日本防災士機構 認定防災士 / 稲城市消防団第八分団 団長
若葉台フルツの社自治会 副会長
若葉台フルツの社自主防災組織 本部長
若葉台夏祭り実行委員会 委員 / 若葉台防災協議会 事務局
わかほのマルシェ実行委員会代表
上谷戸水戸の夕べ実行委員会委員
上記以外に、若小PTA大組の会長、若葉台学童クラブ父母会会長、ふれあいの森運営委員など、様々な地域活動に関わる



無所属 53歳

中田中

村上洋子さんを応援します

- 山田 真 小児科医
- 増田和美 生活クラブ生協東京理事
- 近藤恵津子 NPO法人コミュニティスクールまちデザイン理事長
- 山田正彦 弁護士 / 元農林水産大臣
- 天笠啓祐 ジャーナリスト
- 三木由希子 NPO法人情報公開クラブ副理事長
- 鏡 諭 法政大学大学院兼任講師
- 瀬戸大作 一般社団法人反貧困ネットワーク事務局長
- 若永やす代 東京・生活者ネットワーク都議会議員
- 中村美穂子 元稲城市議会議員

プロフィール

- 1955 山形県生まれ / 県立長井高校
- 78 法政大学卒業 / 経済組合連合会 / 教育映画会社に勤務
- 85 生活クラブ生協加入 / 生協理事
- 2004 調布市子ども条例制定準備委員会委員
- 07 稲城市に転入
- 08 ハオパブ保育園非常勤
- 2015 稲城市議会議員初当選 総務委員会、福祉文教委員会、三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員、多摩川衛生組合議会議員、都市計画審議会委員 2期8年
- 中学・高校教員免許、保育士資格、剣道二段
- 夫、息子と3人暮らし / 娘2人は独立 ●若葉台在住

オーガニック給食でまちづくり!

稲城の新鮮な地場野菜を、もっと給食に! オーガニック食材の割合ももっと増やして、子どもたちに健康になってもらいたい! 市内産野菜の活用で「働く場」の確保もできます。オーガニック給食でも人も、まちも元気にしていきます!

子どもにやさしいまちづくり!

「子ども計画」の策定に「子どもの権利」をしっかりと書き込んでいくこと、子どもの意見を聴き、子ども参加で計画を策定していくことを議会に訴えていきます。また、人権の視点を重視した包括的性教育を推進します。

ジェンダー平等、共生のまちづくり!

多様な性や障がいについて理解を深め、互いを認め合う施策を推進します。そして、貧困や高齢期の孤立を自己責任ととらえるのではなく誰もが生きがいをもち自分らしく生きられるまちづくりに取り組みます。

子育て・介護・保育者としての経験と2期8年の議員経験を活かして、**支え合い孤立させない稲城をつくりまします!**

https://murakamiyoko.seikatsusha.me

村上洋子



稲城・生活者ネットワーク むらかみよこ

村上洋子

仕事やレジャーなどで当日投票できない方へ

期日前投票をご利用ください

会場	開設期間	開設時間
地域振興プラザ 1階	4月17日(月) ~ 22日(土)	午前8時30分 ~ 午後8時
平尾自治会館 (平尾3-7-1)	4月20日(木)・21日(金)	午前9時 ~ 午後6時
iプラザギャラリー (若葉台2-5-2)*	4月19日(水) ~ 21日(金)	午前9時 ~ 午後8時

*iプラザでの期日前投票による駐車サービスはございません。